



《労農記者クラブ扱い》

大阪労働局発表  
平成23年5月19日

|   |                  |
|---|------------------|
| 担 | 大阪労働局労働基準部安全課    |
| 当 | 電 話 06-6949-6496 |

## 大阪労働局長が建設現場をパトロール

### (大阪危険ゼロ先取運動)

大阪労働局長（西岸 正人）が、建設業における労働災害による死者数を更に減少させることを目指して、安全パトロールを行う。

日時：平成23年6月1日（水）13：30～

場所：「中之島フェスティバルタワー新築工事」作業所  
（大阪市北区中之島2丁目22）

- 大阪府内の平成22年の労働災害による死者数は昨年より9人減少し、63人と過去最低を記録し、平成21年の都道府県別ワーストワンを返上することができました。このうち建設業についても、死者数は18人で、前年の20人から更に2人減少し、こちらも過去最少を更新しました。  
しかしながら、全業種に占める建設業での労働災害の割合は依然として最も高く、事故の型別で見ますと、墜落・転落災害が全体の半数を占めています。
- 今年度、大阪労働局では「誰もが健康で安心して働ける元気な大阪」を行政運営のスローガンとし、「労働災害の更なる減少」を重点の取組として位置付け、「大阪危険ゼロ先取運動」を展開しており、「墜落・転落災害」、「フォークリフト災害」、「交通労働災害」の防止及び「熱中症」の予防の4項目について、強調期間を設け、パトロール等の啓発活動を集中的に実施しています。
- 6月は、4項目全ての強調期間であり、かつ、全国安全週間準備期間（6月1日から6月30日までの期間）です。初日に当たる6月1日（水）に、大阪危険ゼロ先取運動の一環として、大阪労働局長が建設現場の安全パトロールを実施し、建設業における死亡災害の更なる減少を目指した周知啓発活動を行います。